

周波数の国際協調利用促進事業 平成 29 年度 終了評価結果

案件名		実施期間	評価会での主なコメント	評価点
周波数の国際協調利用促進のための海外展開プロジェクトの推進（課題公募型）	適応映像配信制御及びマルチパス映像配信技術を用いたドローン映像配信システム	H29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に設定された計画は、着実に遂行されていると感じる。 ・ 技術的優位性がある旨の言及があったが、説得力に欠ける印象であった。他のドローン映像システムと比較した場合のコスト優位性についても不明である。 ・ 実証実験以降の展開が不明確である印象を受ける。具体的な事業計画の成立可否について、今回の発表では判断が難しい。要素技術は優れているため、それを上手く売り込むための工夫が必要と考える。 ・ 携帯電話回線を利用する際におけるドローンの活動範囲（携帯電話の電波が届くエリア内）と、森林管理者が考えるエリア（森林火災等の監視対象としたいエリア）に相違が生じるのではないかと危惧している。 	3.2